



(9) 工事中の配慮事項について

工事は、現在の列車運行を確保しながら実施するため、線路に近接して作業を行う場合には夜間作業が必要となるが、できるだけ夜間作業が少なくなるような施工計画を検討し、近隣の住民に対して工事の実施期間・内容等について事前に周知する。

工事中の仮囲い等は、歩行者に圧迫感や不安感を与えないよう、デザイン等に配慮したものとす。

安全確保のために一般交通の遮断又は切り回しが必要な場合には、事前に対策を検討し、関係機関と協議した上で、近隣の住民に看板やチラシ等で周知する。

さらに、工事の施行中は、問合せや苦情対応の窓口を設けて、きめ細かな対応を行う。

## 4.2 供用の計画

供用後における鉄道の運転計画は、表4.2-1に示すとおりである。

なお、運転計画は、現況と変わらない内容を想定している。

表 4.2-1 運転計画

編成車両数	現在	4両編成 (18m/両) 6両編成 (18m/両) 8両編成 (18m/両) 12両編成 (18m/両)
	計画	4両編成 (18m/両) 6両編成 (18m/両) 8両編成 (18m/両) 12両編成 (18m/両)
運転方法	現在	上り線1線、下り線1線、引上線2線
	計画	上り線1線、下り線1線、引上線2線
運転本数	現在	朝方ラッシュ時最大 (上下線) 48本/時 終日上下線 750本/日
	計画	朝方ラッシュ時最大 (上下線) 48本/時 終日上下線 750本/日